

Title	展示会「『今昔物語集』への招待」を開催
Author(s)	
Citation	静脩 (1997), 33(2): 10-11
Issue Date	1997-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/37458">http://hdl.handle.net/2433/37458</a>
Right	
Type	Article
Textversion	publisher

ディアセンターや総合博物館と協調してどのような情報サービスを提供していくか等調整を行い、効果

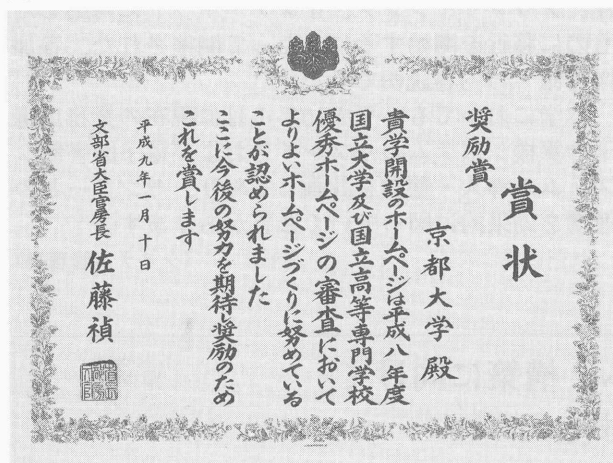
的な内容を計画し実践する予定です。ご理解とご協力をお願いします。  
(システム管理掛)

## 本館ホームページが 「国立大学等優秀広報誌等表彰・奨励賞」 を受賞しました

国立大学等優秀広報誌等表彰に、平成8年度より新たに、優秀ホームページを表彰する「ホームページ（インターネット）の部」が設けられ、平成8年12月に選考が行なわれ、本学より推薦されていた「京都大学附属図書館ホームページ」が奨励賞を受賞しました。

本館のこのホームページは、平成8年1月に開設されたもので、館内職員による電子図書館ワーキンググループが中心となって立ち上げ維持してきたものです。

評価された内容は、Java アプレットを使った技術的な面よりは、公開している内容の豊富さが対象とされたようです。本館ホームページの構造概念図（下図参照）を見てもわかりますように、目録や電子展示に掲載している図書館資料情報の電子化が同時に進んでいる面が、審査において特徴的であったもの  
賞状

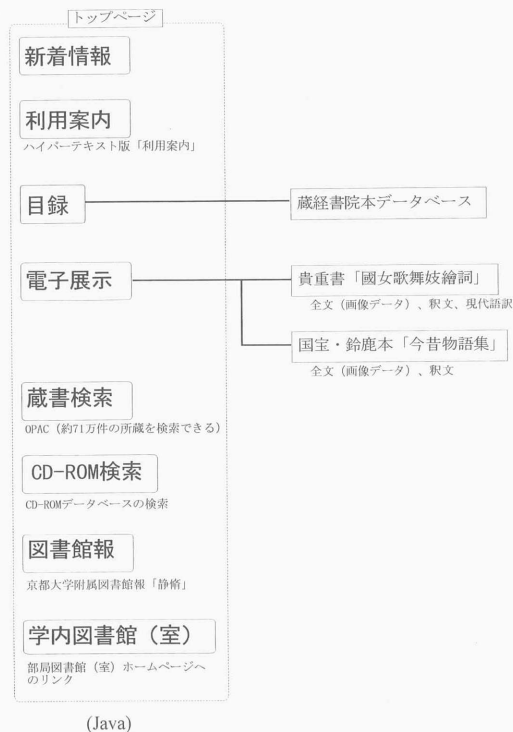


と思われます。

平成9年度の電子図書館システムの予算化も、図書館資料情報の電子化の推進とともに既存の図書館システムとの有機的な結合が最も注目されるであろうと考えます。図書館職員の衆知を集めて、より機能としてまとまったシステム化を実現していくことが求められています。

(電子図書館ワーキンググループ)

附属図書館ホームページ構造概略図



## 展示会「『今昔物語集』への招待」を開催

附属図書館では、平成8年度の秋季展示会を、展示ホール（3階）において、11月11日（月）から17日（日）までの7日間、標記テーマで開催し、国宝鈴鹿本『今昔物語集』および本館所蔵の重要文化財指定図書を展示した。入場者数は947名であった。開

催期間中の11月15日（金）には、AVホール（3階）において、本学の西山良平総合人間学部助教授による講演会、「『今昔物語集』の〈構造〉と歴史学」を開催した。来聴者は121名であった。なお、展示会開催に先立つ11月8日には、鈴鹿本『今昔物語集』の

寄贈者である鈴鹿紀氏、井村総長ほか学内関係者およびマスコミ関係者の出席を得て、展示披露を行った（写真はその模様）。



展示会は「『今昔物語集』への招待—鈴鹿本『今昔物語集』国宝指定記念」と題して、今昔物語集を中心とする第一部と重要文化財指定図書の第二部により構成した。

第一部は『今昔物語集』の成立と「鈴鹿本」の位置づけ、その後の影響など、『今昔物語集』の広大な世界を時代を追って紹介することを企図した。展示資料は鈴鹿本『今昔物語集』のほか、附属図書館、文学部の所蔵する関連資料、他機関所蔵の『今昔物

語集』諸本の写真パネルなどである。

第二部では重要文化財指定図書39点を展示した。平松家本3点、清原家家学書34点、その他2点をそれぞれ1グループとして展示した。

展示目録は解説と写真図版で構成した。

展示会にあわせて電子展示も行うこととし、附属図書館ホームページのコンテンツに加えて、インターネット上で公開し、展示会場にブラウザ端末を設置した。また、鈴鹿本については、全文のイメージと翻刻による「www 版鈴鹿本『今昔物語集』」を作成して、電子展示画面とリンクした。これらは展示会終了後も引き続いて公開されている（URL：<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/exhibit/konjaku>）。

来観者へのアンケートで興味深い展示資料としてあげられたのは、やはり国宝・鈴鹿本『今昔物語集』が多かったが、万葉集（尼崎本）清原家家学書などもあげられていた。展示の感想としては、「わかりやすかった」「ゆったりしていた」「系統的にならべられていて工夫がみられた」などの意見も寄せられた。文字資料が多く色彩的には地味であったが、資料の魅力は十分に観覧者に伝えられたと思われる。

（雑誌・特殊資料掛）



## 「論文・レポートのための文献収集講座」開催は大好評のうちに



附属図書館において、前号でお知らせしたように、下記のように中級オリエンテーション「論文・レポートのための文献収集講座」を開催しました。

開催日時

1 週目…10月 7—8 日 12:10~12:55

2 週目… 14—16 日 15:00~15:45

場所：附属図書館 3 階 AV ホール

講座の内容は、主として学部生を対象とし、レポート・論文を作成する時に、図書館を使って、自分の調べたいテーマに関する資料をどのように探したらよいのか、京大にない場合はどのように入手したらよいのかについて説明いたしました。図書の場合、雑誌の場合、新聞・学位論文等の特殊資料の場合について、それぞれ附属図書館 1 階備え付けの参考図書や CD-ROM を駆使して調べる方法を具体的に説明しました。

このような利用案内は、昨年度までは新学期当初

に新入生を対象に行うオリエンテーションの中で簡単に行っていましたが、時間の制限もあり、大変不十分でしたので、今年度からは内容を文献の探し方に限定して充実させ、秋に行うことといたしました。

初めての試みで、どのくらいの方に来ていただけたのか心配でしたが、連日多くの方の参加を得、熱心に受講する顔が見られました。

参加者数は468名で、そのうち360名の方からアンケートの回答が寄せられています。回答内容から抜粋して紹介しますと、参加者は、4 回生が一番多く103名、続いて 3 回生68名、修士大学院生62名の順となっています。

